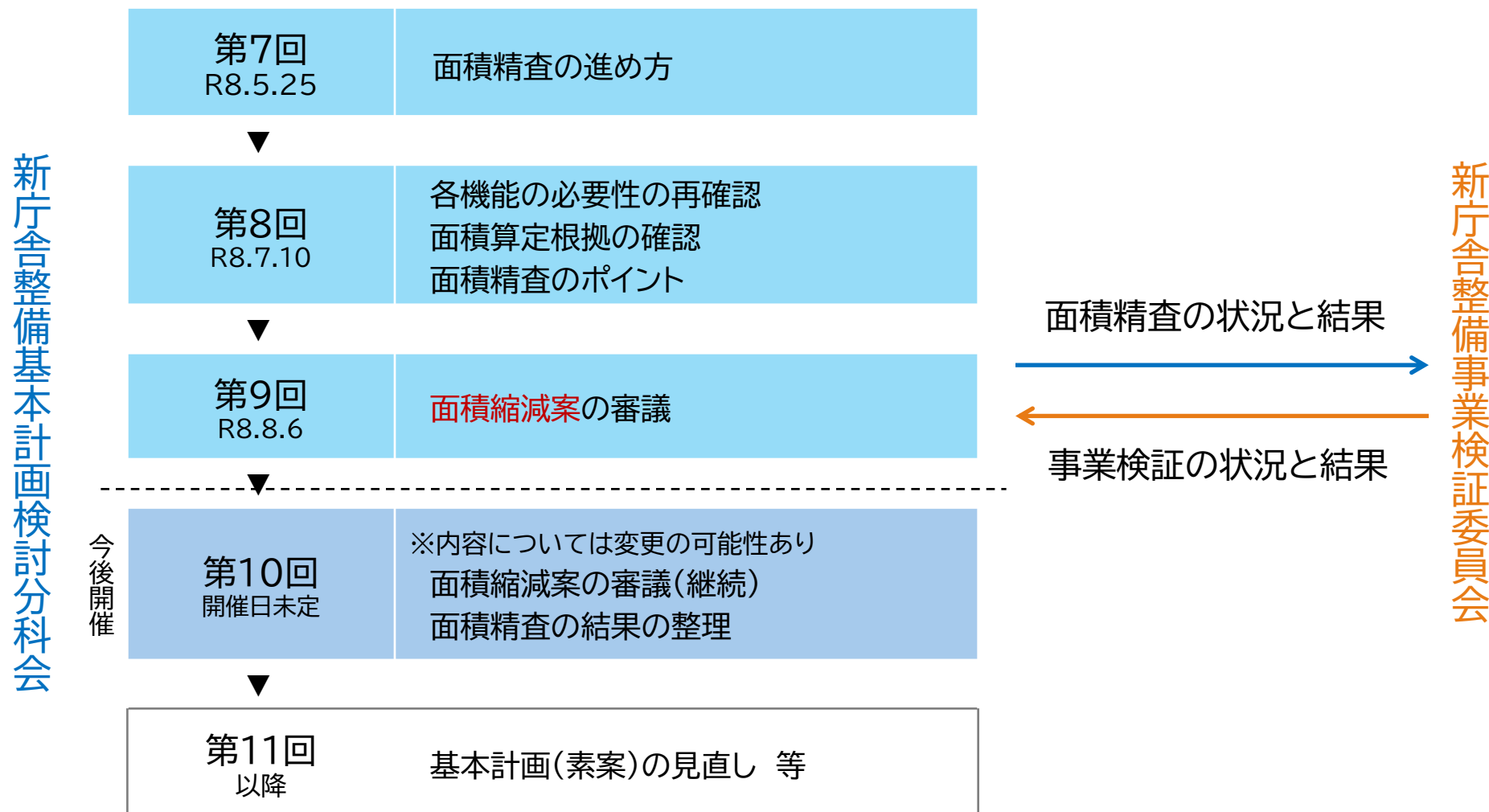


【面積精査の状況】

- ・新庁舎の床面積については、新庁舎整備基本計画検討分科会において縮減について審議を進めている。
- ・直近の第9回分科会において、「**面積縮減案**」について審議を行った。



【面積縮減案（第9回分科会時点）】

面積効率化
(当初)

- ・執務室のユニバーサルレイアウト導入、文書量削減目標(現状比50%)による書架削減、複合機・共用備品の集約配置
- ・会議室の共用化、予約システムの導入による利用効率向上、100人超会議の周辺施設活用
- ・書庫倉庫の文書・物品削減目標(現状比50%)によるスペース削減 ・本庁舎は窓口を共用化
- ・災害対応スペースについて平常時は会議室として利用

コンセプトや基本理念を実現する庁舎として、機能の見直しや更なる精査について以下の3点をベースに面積縮減案を作成

- A 執務空間の見直し 執務サポート席数・机の配置間隔を見直し、執務室面積を効率化する
- B 機能の統合(重ね合わせ) スペースを1つの機能の占有とせず、共用化する
- C 周辺施設の活用 周辺施設で代替可能な機能は、新庁舎に整備しない

更なる
面積効率化
(縮減案)

(第9回分科会時点)

執務空間の見直し〔A〕 ▲1,630㎡

- ・執務サポート席の見直し ▲1,040㎡
- ・机の配置間隔の見直し ▲590㎡

大きな会議室は作らない〔C〕 ▲530㎡

- ・人数規模の大きな会議は熊本城ホールや市民会館など周辺の会議室の利用を前提とする ▲530㎡

交流・共創機能は占有スペースを設けず共用部や周辺施設を活用〔B、C〕 ▲4,500㎡

- ・庁舎内の各所にある共用部を最大限活用することとし、占有スペースとしない ▲4,000㎡
- ・利便施設・会議スペースは、周辺施設(熊本桜町ビル等)で補完する ▲500㎡

【面積比較表（第9回分科会時点）】

※表中の数字は、第9回分科会時点のものであり、
今後の審議によって変更になる可能性があります

・ 検討中の手続・相談機能や共用部も含め、第10回分科会において縮減案を審議予定

機能		精査前（①）			第9回分科会時点（②）			差（②－①）			備考
		本庁舎・議会	中央区役所	合計	本庁舎・議会	中央区役所	合計	本庁舎・議会	中央区役所	合計	
執務機能	執務室	16,470㎡	4,810㎡	21,280㎡	15,250㎡	4,400㎡	19,650㎡	▲1,220㎡	▲410㎡	▲1,630㎡	
	会議室	1,860㎡	270㎡	2,130㎡	1,330㎡	270㎡	1,600㎡	▲530㎡	±0㎡	▲530㎡	
	倉庫・書庫	950㎡	270㎡	1,220㎡	950㎡	270㎡	1,220㎡	±0㎡	±0㎡	±0㎡	
	その他諸室	2,900㎡	460㎡	3,360㎡	2,900㎡	460㎡	3,360㎡	±0㎡	±0㎡	±0㎡	
手続・相談機能	窓口スペース	260㎡	1,180㎡	1,440㎡	検討中						
	待合スペース・相談スペース	310㎡	830㎡	1,140㎡							
防災機能	災害対応スペース （災害規模に応じて会議室を拡張利用）	510㎡ （+1,430㎡）	30㎡ （+130㎡）	540㎡ （+1,560㎡）	510㎡ （+1,430㎡）	30㎡ （+130㎡）	540㎡ （+1,560㎡）	±0㎡	±0㎡	±0㎡	災害時は、会議室に加え、オープンな執務フロアも活用
交流・共創機能	交流・共創スペース	2,100㎡	900㎡	3,000㎡	0㎡	0㎡	0㎡	▲2,100㎡	▲900㎡	▲3,000㎡	
	半屋外スペース	1,500㎡	0㎡	1,500㎡	0㎡	0㎡	0㎡	▲1,500㎡	±0㎡	▲1,500㎡	
—	設備・共用部	15,370㎡	5,220㎡	20,590㎡	検討中						
駐車・駐輪機能	駐車場	7,270㎡	5,030㎡	12,300㎡	7,270㎡	5,030㎡	12,300㎡	±0㎡	±0㎡	±0㎡	
議会機能	議会	6,500㎡	0㎡	6,500㎡	今後調整						
合計		56,000㎡	19,000㎡	75,000㎡	50,650㎡	17,690㎡	68,340㎡	▲5,350㎡	▲1,310㎡	▲6,660㎡	第9回分科会時点